

技能の評価システムの研究

(第1報, 旋盤技能の評価プログラムの開発)

職業訓練大学校 職業訓練研究センター

研究主幹 古賀 一夫

研究員 戸田 勝也

序 文

本報告は当職業訓練研究センターの研究主幹古賀一夫博士の永年にわたる研究成果の一端である。

職業訓練において、“技能”を語るものは多いが、その評価方法を科学的に統一しようとする試みは皆無に等しかった。古賀氏の開発した“通し評価法”は、個人の技能を、課題の変動に影響されないように、且つ合理的に数量化をはかったものとして画期的であったといえよう。本報告はこの手法を更に電算化したものであるが、これによって集団の場における技能評価は著しく迅速、正確に行えるようになった。本報告の成果が、技能検定、技能照査、あるいは企業等において活用されるならば、我が国の技能水準のレベルアップにひろく寄与することを確信してやまない。

昭和54年2月

職業訓練研究センター所長

宗 像 元 介

調査研究報告書第44号

発行 昭和54年3月10日
発行者 職業訓練大学校
職業訓練研究センター
所長 宗 像 元 介

職業訓練 神奈川県相模原市相原1960
研究センター TEL (0427) 61-9911